

# 年々値上がりする 海外航空券代に抗う

株式会社トップレップ

## 海外航空券代の高さに驚いたことはございませんか？

出張費の管理をしている御担当者様、海外航空券代の高さに驚いたことはございませんか？

私はこの仕事に就き、企業が出張に使う海外航空券代を初めて見た時はその高さに驚きました。

普段自身が海外旅行をする時はなんとか安く抑えようとアジアなら5万円以内、アメリカなら10万円以内、などとネットサーフィンなどをしながら、あらゆる手段で安く買う方法を考えていたので、いくつかの企業の海外航空券代の実態に触れた時は驚いた次第です。

では、企業が出張で払う海外航空券代は安くないのか。

まずは海外航空券代の実態から紐解いていきたいと思います。

## 海外航空券代の摩訶不思議

海外航空券の定価をご存知ですか？この問いに答えられる方はそう多くないと思います。というのも多くの人が海外航空券の価格は変動するものと認識しているからです。

海外航空券の購入価格が決まるまでの成り立ちはまず座席クラス、発着日、予約日から始まります。

座席クラスの中にはファースト、ビジネス、プレミアムエコノミー、エコノミーといった大きなくくりがあります。ここからさらにブレイクダウンし、例えばビジネスクラスの中には3つの予約クラス、エコノミークラスの中には6つの予約クラス、といったように変更可否や取消可否などの運賃ルールに応じた予約クラスが存在します。

発着日には繁忙期、閑散期に応じた価格変動があります。GWやお盆に価格が上がるのはこのためです。さらに、発着の曜日が平日発平日着や週末発週末着など、曜日に応じて変動します。

予約日には出発の何日前に予約をしたかで価格が変動します。出発直前で購入した航空券と、前もって購入していた航空券とでは価格が大きく異なります。ただ早く予約すればいいというわけではなく、早く予約した分早く発券を求められることもあります。

このような複雑な条件を経て海外航空券の価格は決まるのです。

ここでもうひとつ、これだけ複雑な条件を経て価格が決まるのに、座席環境は価格に反映されていないのです。

つまり、同じエコノミークラスの中でも、出口に近かったり、トイレに近かったり、窓側、通路側、真ん中の窮屈な席だったり、どの席でも値段は同じです。(一部航空会社で席ごとに価格差を付け始める動きはありません)

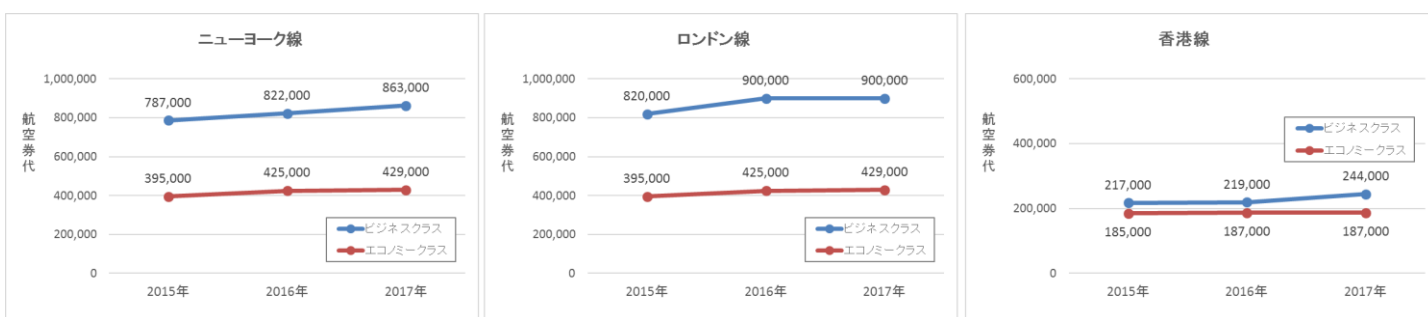
ホテルであればオーシャンビューで価格が上がったりしますが、航空券では窓側のスカイビューだったとしても値段に差はありません。

次の項から実際に2015年から2017年にかけてどのような価格変動があったか見ていきます。

## 海外航空券の価格推移について（2015～2017年）

下記 図1 をご覧ください。

図1) 航空券の価格推移



米国、欧州、アジア、どの地域においても一様に価格は上昇傾向にあります。

2015年から2017年の上昇率をみると、ビジネスクラス、ニューヨークで7.6万円、ロンドンで8万円、香港で2.7万円、エコノミークラス、ニューヨークで3.95万円、ロンドンで3.4万円、香港で0.2万円上昇し、毎年平均して4.5%ずつ上昇しています。

世の中の物価全体が上昇傾向にあるため致し方ない点もありますが、単価の大きな海外航空券代では影響も大きいことがお分かり頂けるかと思います。

## 行動を起こせばこれだけ差が出る！

上昇傾向にある海外航空券代を削減し、抑制していくためには仕組みを変える必要があります。

ここに年間の海外航空券代が3億円かかっているA社とB社があったとします。

A社は旧態依然として特に何も取り組まず、B社は海外出張手配の仕組みを全社的に真剣に取り組んで変革しました。

結果、A社は今のところ大きなコスト変動はありません。しかし、B社は従来海外航空券代の10%(3,000万円)カットに成功しました。

10年後、今のまま海外航空券代が上昇し続ければA社の年間海外航空券代は約4.3億円に上昇しますが、B社は10%カットに成功したメソッドが生き続けるので、価格上昇の中にあってもコスト抑制をし約3.9億円に、そのコスト差は4,000万円に拡がります。

10年間通して毎年10%のコスト抑制に成功したB社の削減効果は合計約3.7億円、営業利益率が10%の企業であれば37億円の売上に匹敵します。

海外航空券代は間接費の中でも非常に大きなコストであり、しかも上昇傾向にあります。このまま何もしなければコストが上がったり、予算を重視すれば海外出張に行ける回数が減るかもしれません。

年々値上がりする海外航空券代に真剣に抗う時期が来ております。

## お問い合わせ窓口のご案内

ご不明な点のお問い合わせや、さらに詳しく聞きたいというご要望などがございましたら、

下記連絡先までお気軽にご連絡ください。弊社のコンサルタントがわかりやすくご説明させていただきます。

Tel : 03-5776-7286

Email : [info@toprep.co.jp](mailto:info@toprep.co.jp)

担当 : 樋下田(ひげた)

営業時間 : 平日 9:00 - 17:00

ホームページからもお問い合わせいただけます。

<https://www.toprep.co.jp/>

### 株式会社トプレップ / TOPREP CORPORATION

東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル

<https://www.toprep.co.jp/>

2015年にトッパングループより出張旅費専門のコンサルタント会社として設立されました。

従来のコンサルティング会社とは異なる専門的アプローチから、グローバルで活躍する企業(特に日本企業)を対象として、間接費の中でも特に大きな割合を占める出張費の削減・最適化を主軸に、旅費規定やご出張者の安全配慮、サプライヤ契約内容等の交渉代行およびコンサルティングを展開いたします。

TOPREPの詳細については <https://www.toprep.co.jp/> をご覧ください。

Copyright TOPREP CORPORATION All Rights Reserved.

本文書は、情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

本文書は、その内容に誤りがないことを保障するものではなく、正確性、信頼性、完全性、新しさに問題があった場合、または本文書のご利用に際して生じた利用者と第三者との間のトラブルが発生した場合について、いかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。

本文書は株式会社トプレップの著作物であり、いかなる目的のためにも当社の事前の承諾なく本文書の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することはできません。